

令和7年度

利根沼田学校組合立利根商業高等学校入学者選抜

特別選抜実施要項

利根沼田学校組合教育委員会

目 次

1 応募資格	・・・・・・・・	1
2 募集定員	・・・・・・・・	1
3 出願の制限	・・・・・・・・	1
4 志願してほしい生徒像	・・・・・・・・	1
5 出願手続	・・・・・・・・	1
6 志願の辞退	・・・・・・・・	2
7 検査	・・・・・・・・	2
8 選抜方法	・・・・・・・・	2
9 選抜結果の発表	・・・・・・・・	2
10 選抜日程	・・・・・・・・	2
11 追検査	・・・・・・・・	3
付記1 障害等のある受検者への配慮	・・・・・・・・	4
別記1 「志願情報」の登録について	・・・・・・・・	4
別記2 「インタビューシート」の作成について	・・・・・・・・	4
別記3 「調査書」の作成について	・・・・・・・・	5
様 式	・・・・・・・・	7
令和7年度利根沼田学校組合立利根商業高等学校の募集・選抜方法等一覧・・・10		

利根沼田学校組合立利根商業高等学校（以下「本校」という。）の群馬県外に居住する出願者を対象にした令和7年度入学者選抜特別選抜（以下「特別選抜」という。）は、この要項によって実施する。

1 応募資格

群馬県外に居住する者で、次のア又はイに該当する者とする。加えて、入学後は本校の寄宿舎（以下「寮」という。）又は校長が認めた宿舎から通学することができる者とする。

ア 学校教育法第57条の規定により、中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者若しくは令和7年3月卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了した者若しくは令和7年3月修了見込みの者

イ 学校教育法施行規則第95条の各号のいずれかに該当する者又は令和7年3月に該当する見込みの者

2 募集定員

普通科10名、総合ビジネス科14名とする。

3 出願の制限

(1) 1学科（「普通科」又は「総合ビジネス科」）に限り出願できる。ただし、本校校長が第2志望を認めるので、「普通科」を希望する者は第2志望として「総合ビジネス科」も志願することができる。

(2) 高等学校等に在籍している者の出願は認めない。

(3) 本校へ出願する者は、本校以外の公立高等学校へ出願することはできない。ただし、都道府県によりこの限りではない。

4 志願してほしい生徒像

- ① 礼儀やマナーを重んじ、部活動や資格取得に、自主的に取り組みたい生徒
- ② 物事に対して関心や目標を持ち、素直に、積極的に授業や学校行事に取り組みたい生徒
- ③ 周りの人を思いやり、協調性を持って学校生活を送りたい生徒

5 出願手続

(1) 中学校等は、「WEB出願システム」の活用にあたって必要な中学校アカウントを作成する。「令和7年度群馬県公立高等学校入学者選抜事務サイト」の「県外からの出願」にあるアカウント作成フォームに「中学校名」、「中学校代表メールアドレス」、「中学校代表電話番号」、「担当者氏名」を回答し、作成する。

(2) 志願者は、群馬県公立高等学校入学者選抜WEB出願システム（以下「WEB出願システム」という。）により、出願に係る次のア、イを登録し、出願手続を行う。

ア 「志願情報」

志願情報は、別記1を参照の上、登録する。

なお、志願者の写真については、正面上半身脱帽で令和6年10月1日以降に撮影した縦：横の比が4：3のものとし、カラー、白黒いずれも可とする。また、受検料については、2,200円をWEB出願システムの案内に従って、電子納付を行う。

イ 「インタビューシート」（様式1）

インタビューシートは、PDFデータとし、作成にあたっては別記2（4ページ）を参照する。

(3) 志願者の在籍する又は卒業した中学校等の校長（以下「中学校長等」という。）は、WEB出願システムにより、志願者の志願情報に誤りのないこと及び受検料が納付されていることを確認するとともに、志願者の「調査書」を本校校長に提出する。

なお、調査書はExcelデータとし、作成にあたっては、別記3（5ページ～）を参照する。

(4) 本校校長は、入学願書等受付として、12月2日（月）午前9時～12月10日（火）午後5時に、WEB出願システムにより、志願者から提出された出願に係る情報等及び中学校長等から提出された調査書（Excelデータ）を受理する。

(5) 障害のある者や病気等の者で、中学校等で配慮や支援を受けている者が受検するに当たり、障害や病気等の状況・程度により配慮が必要な場合については、付記1（4ページ）による。

6 志願の辞退

志願の辞退を希望する者は、中学校長等の確認を経て、WEB出願システムにより志願を取り消す。

なお、手続は、12月11日（水）午前9時～令和7年1月10日（金）午後5時に行うものとし、既に納付した受検料は還付しない。

7 検査

(1) 志願者は、1月11日（土）に行う作文及び面接等の全ての検査を、本校が指定した場所で受けなければならない。また、受検の際には、「受検票」を提示するものとする。

(2) 検査日程は次のとおりとする。

時間	9:10	10:20
期日	~10:00	~12:20
1月11日（土）	作文	面接

(3) 検査を受検する際の携帯品は、受検票、鉛筆又はシャープペンシル、消しゴムとする。また、必要に応じて腕時計（計算・通信機能等の付いていないものに限る。）を携帯することもできる。

なお、検査問題の解答に参考となるもの（格言、四字熟語や英単語、公式や角度等を記入してあるもの等）は携帯できない。その他の携帯品については、必要に応じて本校校長が定める。

(4) 面接は個人面接を行う。

8 選抜方法

(1) 本校校長は、中学校長等から提出された調査書及び作文、志願者から提出されたインタビューシートを参考として実施する面接等の結果等を総合して、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜を行うものとする。

(2) 本校校長は、本校のアドミッション・ポリシーに基づき、本校校長が定めた検査及び調査書の各検査項目について、それぞれの比重を定めて選抜を行うものとする。

(3) 本校校長は、入学者選抜のための資料の調査・処理等に当たっては、所属教職員をもって選抜委員会を組織し、特に厳正を期するものとする。

9 選抜結果の発表

本校校長は、1月24日（金）選抜の結果をWEB出願システムにより発表する。

10 選抜日程

事項	期日	備考
入学願書受付	12月 2日（月）から	
調査書提出	12月10日（火）まで	
検査等実施	1月11日（土）	前記7による。
合格発表	1月24日（金）午前10時	前記9による。

11 追検査

(1) 追検査の対象

本校特別選抜に出願した者のうち、学校保健安全法施行規則第19条で出席停止の扱いが定められている感染症に感染し、検査当日に受検できない者及び検査当日の事故や交通遮断などの本人の責に帰さない理由により受検できない者で、当該選抜の全てを受検できない状況となり、本校の当該選抜における追検査の受検を希望する者。

(2) 募集人員

募集人員は特に設けず、当該学科等の募集定員に含めるものとする。

(3) 申請手続

- ① 対象者のうち追検査の受検を希望する者は、追検査の受検の意思を、1月11日（土）の午前9時までに、中学校長等を通じて本校校長に伝える。あわせて、「追検査受検申請書」（様式2-1、8ページ）を、交付済みの「受検票」の写しとともに、1月16日（木）の午後4時までに、中学校長等を通じて本校校長へ提出する。
- ② 「追検査受検申請書」等を受理した高等学校長は、その内容を確認し、「追検査受検承認書」（様式2-2、8ページ）を交付する。

(4) 検査

- ① 志願者は、1月18日（土）に、出願した当該選抜に準じた検査の全てを受けなければならない。また、受検の際には、「受検票」及び「追検査受検承認書」を提示するものとする。ただし、検査の日程は次のとおりとする。

時間	9：10	10：20
期日	～10：00	～12：20
1月18日（土）	作文	面接

- ② 検査場は、本校とする。

(5) 選抜方法

- ① 本校校長は、中学校長等から提出された調査書及び作文、志願者から提出されたインタビューシートを参考として実施する面接等の結果等を総合して、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜を行うものとする。
- ② 本校校長は、入学者選抜のための資料の調査・処理等に当たっては、所属教職員をもって選抜委員会を組織し、特に厳正を期するものとする。

(6) 選抜結果の発表

本校校長は、1月24日（金）午前10時に、選抜の結果をWEB出願システムにより発表する。

付記1 障害等のある受検者への配慮

障害のある者や病気等の者で、中学校等で配慮や支援を受けている者が受検するに当たり、障害や病気等の状況・程度により配慮が必要な場合は、次のとおりとする。

- 1 中学校長等は、当該志願者の志願先高等学校が決定した時点で、志願先高等学校に連絡するとともに、原則として出願の1週間前までを目途に、「受検上の配慮に係る状況報告書」（様式3、9ページ）を本校校長宛てに提出し、配慮の申出を行う。
なお、受検上の措置を必要としない場合であっても、入学後に学校施設についての配慮や生活介助員の補助等が必要となる場合は、中学校長等は出願以前に本校校長に連絡し、当該志願者の状況等を伝え、対応等について協議を行う。
- 2 本校校長は、中学校長等から配慮の申出があった場合は、障害や病気等の状況・程度について、当該中学校長等と協議を行い、検査等の公正・公平が保たれ、かつ実施可能な範囲において適切な措置を講ずる。

別記1 「志願情報」の登録について

- 1 登録方法
「WEB出願システム」の案内に従い、出願サイトから志願情報を登録する。
- 2 登録期間
12月2日（月）午前9時～12月10日（火）午後5時
- 3 準備するもの
 - (1) インターネットに接続可能なパーソナルコンピュータやスマートフォンなど
 - (2) 志願者又は保護者が利用可能なメールアドレス
 - (3) A4サイズ用の紙を印刷可能なプリンタ
 - (4) 顔写真のデータ（縦4：横3）

別記2 「インタビューシート」の作成について

- 1 作成に当たっての注意
 - (1) パーソナルコンピュータやタブレット端末などにより作成する。ただし、*の欄は何も記入しない。
 - (2) WEB出願システムによりPDFデータにて登録する。
 - (3) 部活動等における実績や資格等を記入する際は、中学校等に確認し、大会名や成績、資格の名称等を正確に記入する。
- 2 様式
様式1により作成する。
- 3 記入上の注意
 - (1) 1の項目には、「学校・学科等を志願する理由」を記入する。
 - (2) 2の項目には、中学校や家庭、地域での活動など、「これまでの3年間を振り返って、頑張ったことや成長したと思うこと」を記入する。また、やむを得ない事情により欠席日数が多いことなど、本校に伝えたい内容などについて記入してもよい。この場合、記載の有無や内容によって不利が生じることはない。
 - (3) 3の項目には、本校入学後に頑張りたいことを、下記の例を参考に、具体的に記述する。
具体例) ① 高校入学後に入部を希望する部活動名と3年間継続する意思
② 「甲子園出場」など、高校入学後の具体的な目標
③ ②の目標を達成するために、自分には何ができるのか、具体的な活動内容

別記3 「調査書」の作成について

1 作成に当たっての注意

中学校長等は、調査書の作成を行うに当たっては、所属教員をもって調査書作成委員会を組織し、その審議を経て、特に厳正を期するものとする。また、以下の点について十分注意する。

- (1) 記載する内容は、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）に従って作成する。ただし、WEB出願システムにおいては、生徒氏名等の表記に常用漢字に含まれない文字がある場合は、相当する簡易な字で代替する。
- (2) 数字は、全ての算用数字を用いる。ただし、現住所については、漢数字を用いてもよい。
- (3) 部活動や学校外の活動、取得資格等については、「7 参考となる諸事項等の記録」に記載する。
- (4) 「特別の教科 道徳」の評価は記載しない。

2 様式

Excel データにより作成し、WEB出願システムにより提出する。

3 記入上の注意

記載事項、記載要領等は、指導要録に準ずるものであるが、次の点に留意して記入する。

- (1) 「受検番号」
空欄とする。
- (2) 「1 学籍の記録」
 - ア 性別については、該当する性別を記入する。
 - イ 現住所については、居住する都道府県名から記入する。
- (3) 「2 各教科の学習の記録」
 - ア 各教科の観点別学習状況の観点ア、イ及びウは、それぞれ「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」に対応する。
 - イ 第1学年及び第2学年の観点別学習状況及び評定は、指導要録に記載されたものを転記する。ただし、観点別学習状況の転記に当たっては、Aを○とし、B及びCは空欄とする。
 - ウ 第3学年の観点別学習状況は、1学期の状況を総合して評価したものを記入する。記入の方法は、前項に準ずる。
 - エ 第3学年の評定は、1学期の状況を総合して評定したものを記入する。
なお、全ての生徒について5段階による評定を記入するものとし、上位より「5」「4」「3」「2」「1」とする。
 - オ 特別の教育課程による学習を行う生徒の第3学年の観点別学習状況及び評定は、当該生徒の教育課程及びその評価規準によって評価したものを記入する。また、その際「7 参考となる諸事項等の記録」に、特別の教育課程である旨を記載する。
例：「教科〇〇は特別の教育課程による目標・内容に基づく」等
- (4) 「3 総合的な学習の時間の記録」
第1～3学年における「総合的な学習の時間」について、主な学習活動及び評価の観点の観点等を踏まえて、生徒の学習状況の特徴等を記入する。
- (5) 「4 特別活動の記録」
学級活動における係名、生徒会活動における役員名、学校行事における役割等を記入する。
- (6) 「5 行動の記録」
第1学年及び第2学年は指導要録に記載されたものを転記する。第3学年は指導要録の記載に準ずるものとし、十分満足できる状況にあると判断される場合には○印を記入し、他の場合は空欄とする。
- (7) 「6 出欠の記録」
指導要録に準じて記入する。ただし、卒業見込みの者の第3学年の記録は1学期のものを記入する。

(8) 「7 参考となる諸事項等の記録」

次のうち特記すべき事項等があれば記入する。

ア 「1 学籍の記録」、「2 各教科の学習の記録」、「3 総合的な学習の時間の記録」、「4 特別活動の記録」、「5 行動の記録」、「6 出欠の記録」を補足する事項

イ 学校生活全体にわたって見られる特徴及び性格等

ウ 部活動等における活動状況等

郡市単位以上の展覧会や各種の大会における活動や実績等

エ 学校外における活動等

・学校教育以外の諸活動における継続的な活動及び個人参加の大会等における優れた成績等

例：青少年教育活動：市町村教育委員会主催の活動、ボランティア活動 等

自然体験活動：育成会主催の活動、ボーイスカウト、ガールスカウト 等

その他の教育的活動：スポーツ少年団、スポーツクラブ、武道、音楽・書道教室、

検定、資格 等

オ その他

・その他、特記すべき事項

(様式1)

インタビューシート

氏名	受検番号	*
志願する学校	利根沼田学校組合立利根商業高等学校	
志願する 学科等	第1志望	科
	第2志望	科

1 学校・学科等を志願する理由

2 これまでの3年間を振り返って、頑張ったことや成長したと思うこと

3 志願する学校が設定した質問への回答

質問項目	入学後、高校生活で頑張りたいこと
------	------------------

(注意) ・パーソナルコンピュータやタブレット端末などにより作成する。ただし、*の欄は、何も記入しない。
・WEB出願システムによりPDF形式にて提出する。

(様式2-1)

追検査受検申請書

令和 年 月 日

利根沼田学校組合立利根商業高等学校長 様

私は、追検査の受検を希望するので、申請します。

受 検 番 号	
志願した学科等	第1志望 科
	第2志望 科
追検査の受検を希望する事由	
志願者氏名	
保護者氏名	

上記の記載事項に相違のないことを証明します。

令和 年 月 日

立 校長

職 印

----- 切り取らないこと -----

(様式2-2)

追検査受検承認書

受検番号

志願者名

本校の特別選抜を志願していた上記の者について、追検査の受検を承認します。

※ 令和 年 月 日

※ 利根沼田学校組合立利根商業高等学校長 齊藤宏之

職 印

(注意) ※欄は、高等学校において記入する。それ以外は、志願者及び在籍学校長が全て記入する。

(様式3)

受検上の配慮に係る状況報告書

令和 年 月 日

利根沼田学校組合立利根商業高等学校長 様

立 学校長



令和7年度利根沼田学校組合立利根商業高等学校入学者選抜特別選抜において配慮が必要な生徒の状況については、下記のとおりです。

記

ふりがな	
生徒氏名	(性別)

A 障害や病気等の種別 (該当するものの□に✓)	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 学習障害 <input type="checkbox"/> 注意欠陥多動性障害 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> その他(名称)
B 障害や病気等の状況	
C 日常の学習及び配慮の状況	
D 受検に際して配慮してほしいこと	

記載者職・氏名

(注意) できるだけ詳細に記入する。

令和7年度利根沼田学校組合立利根商業高等学校の募集・選抜方法等一覧

※ 各検査項目等の比重については、合計が10となるように、それぞれのおおよその割合を示している。

学校名	志願してほしい生徒像	学科等	性別	募集定員	特別選抜				
					募集人員 (%)	選抜方法及び選抜において重視する項目等	検査項目及び各検査項目等の比重※		
							調査書	作文	面接等
利根商業高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀やマナーを重んじ、部活動や資格取得に、自主的に取り組みたい生徒 ・ 物事に対して関心や目標を持ち、素直に、積極的に授業や学校行事に取り組みたい生徒 ・ 周りの人を思いやり、協調性を持って学校生活を送りたい生徒 	普通科	男女	24人	10人	【選抜方法】 ・ 調査書及び面接、作文の結果等を総合して、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜を行う。 【重視する項目等】 ・ 調査書の評定、特別活動等の記録 ・ 学習や学校生活への意欲等 ・ 面接における態度等	3	3	4
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀やマナーを重んじ、部活動や資格取得に、自主的に取り組みたい生徒 ・ 物事に対して関心や目標を持ち、素直に、積極的に授業や学校行事に取り組みたい生徒 ・ 周りの人を思いやり、協調性を持って学校生活を送りたい生徒 	総合ビジネス科	男女		14人	【選抜方法】 ・ 調査書及び面接、作文の結果等を総合して、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜を行う。 【重視する項目等】 ・ 調査書の評定、特別活動等の記録 ・ 学習や学校生活への意欲等 ・ 面接における態度等	3	3	4